

大館ふるさと会からの大館へ

大館ふるさと会からのたより ③③



副会長 齋藤 貞さん
(横浜市在住)

時代の流れは速いもので、ふるさと大館を離れて三十五年の年月が過ぎてしまいました。主人の勤めの関係から、秋田市で五年ほど暮らした後、現在の横浜市に移り住むことになったものです。

幸せなことに、秋田市に茶、華道の教え子があり、今でもその指導に当たっております。そのため、三カ月に一度は秋田経由で、ふる

さと大館へと足を運ぶことが何より楽しくもあり、ストレス解消にもなっております。また、大館では柳町児童公園(通称横山児童公園・中町公園)で、決まった日に開かれる市日に立ち寄ることも忘れません。普段、めったに会うことのできない人にも偶然会えるから私は大好きです。「アエ、マタキ

な方言で声をかけられますと、ふるさとに帰っている実感がわいてまいります。いつまでもこの市日は残してほしいものだと常日頃思っておりますから、

とところで私の生まれ育ったところろは、現在の市役所がある場所ですが、当時のことを知る人は数少なくなってしまうました。そこには町の公会堂、図書館、武道館などが建っており、その武道館で育ちました。たまたま父は公職の傍ら、武道館の管理人でありました関係上、私は小学校四年生のころより、弓道に関心を持つようになり、けいこを始めましたが、残念なことに時代も変わり、戦後は、弓を手にすることができませんでした。その後、神奈川県立武道館で弓道が行われていることを知り、いまさらと思ったのですが、心身の鍛錬になればと考え、十年ほど前からけいこを再開、三年前、五段を認証され、目下、錬士に挑戦しているところです。

思い出多いふるさと大館出身の一人として、大館市発展のため、少しでもお手伝い出来ればと頑張っておりますので、よろしくご支援のほどお願い申し上げます。

これはなに?



陶芸用の電気炉

外見は何かの貯蔵庫のようですが、その重そうな扉を開けると、中には耐火レンガとむき出しの金属線。

これは、今月1日にオープンした「サンクレア大館」の創作実習室にある陶芸用の電気炉です。湯呑茶碗ですと、1回で250個も焼きあげることができます。炉の中の温度は1,250度。約10時間ででき上がるそうです。マイコンが内蔵され、時間や温度はボタン一つで調節できます。サンクレアの陶芸入門教室などで活躍します。

能代発 → 大館着



前略

大館市民になりました

⑧

☆今回は、東台4丁目にお住まいの伊藤幸さん一家です。

Q・ご家族は何人ですか?

私と妻の加奈子と長男の着矢の三人です。

Q・どちらからおいでになりましたか?

私は、能代市、妻は、鹿角市出身です。今年五月からこちらに住んでいます。

Q・大館市の印象はいかがですか?

海沿いで育ったものだから、とても雰囲気が違います。こちらは山に囲まれ、緑が多いですね。また、住宅街では、アパートなどの集合住宅の多さが目に付きました。実際に生活してみても、買い物などではそんなに不便を感じたことはありません。ただ、前に住んでいたところと比べてですが、例えば、鉄砲場の下町橋など、全体的に、交通量が多い割には道路が狭いと感じています。また、運転していて道路の段差やくぼみが気になります。

Q・食べものはいかがですか?

二人とも出身地が同じ東北地方ですので、食習慣はほとんど同じですね。こちらに来て、初めて比内鶏を食べてみました。調理法によると思いますが、普通の鶏より固かったです。

Q・大館市に望むことは?

道路の整備を第一に望みたいと思います。今進めている新しい道路の建設と一緒に、すでにある道路の拡張や舗装などの整備をもっと進めてほしいです。また、近くに子どもと一緒に遊べる施設がもっとあったらと思います。

